

イ 青少年育成事業の充実

P	<p>① わんぱくアドベンチャークラブなどの体験学習の推進</p> <p>② 他市町村のスポーツ少年団との交流促進</p> <p>③ 各種少年スポーツ大会への助成</p> <p>④ 青少年によるボランティア活動の促進</p> <p>⑤ ふるさと創生中学生派遣交流事業の推進</p>
D	<p>① わんぱくアドベンチャークラブなどの体験学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わんぱくアドベンチャークラブ実績 会員数 村内小中学生37名 実施状況 原則毎月1回(11回開催。開催日変更のため1回中止) 主な体験活動 ・JAL空育・西別岳ハイキング・スノーシュー体験 ほか ・ 2町村合同交流ネイチャーアドベンチャー事業実績 8/4～8/7 3泊4日 参加者 鶴居村6名・標茶町24名 計30名 引率両教育委員会5名 実施場所 ネイパル厚岸 主な活動 ・野外炊飯 ・海事記念館、水鳥観察館見学 ・焼き板クラフト など <p>② 他市町村のスポーツ少年団との交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路管内スポーツ少年団交流会への参加 釧路管内スポーツ少年団指導者・母集団交流研修会への参加 ・ 鶴居村スポーツ少年団交流事業～各单位団の日程調整が整わず中止 <p>③ 各種少年スポーツ大会への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成実績 鶴居ACほか25件(選手84名、引率26名) 3,857千円 <p>④ 青少年によるボランティア活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績なし <p>⑤ ふるさと創生中学生派遣交流事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度(令和4年度)以降の交流事業は、本村同様に「日本で最も美しい村」連合に加盟し、むらづくりを進めている赤井川村を新たな交流先とし、中学校の宿泊研修と兼ねて実施することとした。令和6年度は7月17日に赤井川村を訪問し、赤井川村役場から村づくりの取組の説明を受けた後、事前に学習した鶴居村の村づくりの取組と対比して質疑を行うなどしたほか、赤井川中学校の生徒に鶴居村の紹介とタンチョウ保護の取組など各学校の事前学習をまとめた内容のプレゼンをするなどした。 令和6年7月16日～18日 小樽市・赤井川村・留寿都村・千歳空港 鶴中生徒15名・幌中生徒2名・引率教諭8名・教委2名 計27名 事業費決算額2,281千円

① わんぱくアドベンチャークラブなどの体験学習の推進

- ・ わんぱくアドベンチャークラブは、小学生にとって日常では経験できない、多様な体験学習の機会であり、また、異学年・他校との交流や親睦を深める機会となっており、貴重な学習の場となっている。
- ・ 2町村合同交流ネイチャーアドベンチャー事業は、ジュニアリーダーの養成の場でもあり、内容の充実が求められる。

② 他市町村のスポーツ少年団との交流促進

- ・ 釧路管内各スポーツ少年団が一堂に集うことで、心触れあう出会いを通して友情の輪を広め、仲間意識と少年団活動の活性化を図ることにつながることができた。
- ・ 村内交流も上記同様の効果が期待されるが、各単位団の日程調整が整わず中止となった。

③ 各種少年スポーツ大会への助成

- ・ 村内スポーツ少年団等の選手の全道大会への参加への助成により、保護者負担の軽減を図るとともに、選手のモチベーション向上や応援してくれる人たちへの感謝の気持ちの醸成など心身ともにスポーツを通じた健全育成につながっている。

④ 青少年によるボランティア活動の促進

- ・ 教育委員会として、ボランティアスタッフの育成を開始したが、あまり子どもたちに対して活動内容が浸透していないため、普及啓発及びスタッフの確保が課題となっている。

⑤ ふるさと創生中学生派遣交流事業の推進

- ・ 交流事業は、鶴居村の紹介やタンチョウ保護のことなど、各学校で学習してきた特色ある学習の成果を発表することができ、両村の相互理解に繋がった。また、赤井川村の村づくりの説明を聞いて、自分で調べるだけでは気付かなかった、鶴居村の良さや課題発見につながった。
- ・ 新千歳空港では、鶴居村のPR活動としてパンフレットや特産品の配布を行い、子どもたち自身で鶴居村の魅力や素晴らしさを観光客へ伝えることができた。2校合同で実施したことで、学校の枠を超えて、生徒間同士の交流の機会を提供することができた。

① わんぱくアドベンチャークラブなどの体験学習の推進

- ・ 児童生徒の体験学習の貴重な機会であることに鑑み、引き続き内容の充実や関係機関との連携に取り組むことが必要。

② 他市町村のスポーツ少年団との交流促進

- ・ 引き続き、管内交流会や研修会等への参加や村内交流会の実施を通して、少年団活動の一層の活性化を図ることが必要。

③ 各種少年スポーツ大会への助成

- ・ 助成の成果を踏まえ、継続して実施していくための予算の確保が必要。

④ 青少年によるボランティア活動の促進

- ・ ボランティアスタッフの更なる周知を図り、子どもたちのボランティア活動の場を確保することが必要。

⑤ ふるさと創生中学生派遣交流事業の推進

- ・ これまで保護者や関係者から、従前の様に北海道外への派遣交流を望む声が高まり、事業の一層の充実を図るため、令和8年度を目途に、現在の道内赤井川村から道外への交流先を検討する。（※日本で最も美しい村の同志、静岡県川根本町で調整協議）

今後の方向性

継続

ウ 青少年組織、活動の充実

P	<ul style="list-style-type: none"> ① 青少年活動への村民の参加拡大 ② 少年団指導者の研修会への参加促進 	
D	<ul style="list-style-type: none"> ① 青少年活動への村民の参加拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績なし ② 少年団指導者の研修会への参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績なし 	
C	<ul style="list-style-type: none"> ① 青少年活動への村民の参加拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 村の各種イベントや関係団体事業、各種学習機会への村民の参加拡大を図るための施策を想定していたが、事業の企画・実施に至らなかった。 ② 少年団指導者の研修会への参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少年団指導者研修会への参加を通して、少年団活動の活性化や新たな指導者の発掘・育成を図るための施策を想定していたが、参加希望がなく実施に至らなかった。 	D
A	<ul style="list-style-type: none"> ① 青少年活動への村民の参加拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年活動をはじめとした各種活動機会の確保と参加拡大に向けて、関係団体とも協議をしながら施策の在り方そのものを検討する必要がある。 ② 少年団指導者の研修会への参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化に伴う団体競技の広域化が顕著であり、他の市町村との連携による、広域的指導者の育成確保が必要。 	
今後の方向性	継続（施策の在り方検討）	

基本目標	4 誰もが気軽に楽しめるスポーツ環境の整備を進めます。【スポーツ・レクリエーション】
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでファミリースポーツセンター、村民プール、テニスコート、野球場、多目的運動広場（サッカー場）、パークゴルフ場など、生涯スポーツ施設の充実を図ってきた。 ○村民のスポーツニーズは多様化し、生涯にわたって誰もがいつでもスポーツに親しむことができる環境づくりが求められている。 ○各スポーツ施設等の計画的な維持管理と指導者の確保が課題となっている。
主要施策	ア スポーツ施設の維持管理 イ スポーツの振興 ウ 指導者、リーダーの確保

主要施策の取組状況とその成果

ア スポーツ施設の維持管理

P	<ul style="list-style-type: none"> ① 鶴居西公共エリア施設整備基本計画に基づく施設及び環境整備の推進 ② スポーツ施設の適切な維持管理の推進 ③ スポーツ施設の利用促進 																																						
	<p>① 鶴居西公共エリア施設整備基本計画に基づく施設及び環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新総合体育館建設工事 2022年（令和4年）3月完成（同10月開館） 総事業費 1,495,000千円 鉄筋コンクリート造2階建 延べ床面積 2722.73㎡ 主要施設：メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム、コミュニティスペース、キッズルーム、ランニング・ウォーキングデッキ <p>② スポーツ施設の適切な維持管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミスポアップの管理運営 (株)むらづくり鶴居が指定管理者として運営 指定管理料 32,000千円（4月～3月）※更新1年目 指定管理期間 令和6年度～8年度 3年間 ・スポーツ施設の補修工事等 <ul style="list-style-type: none"> ・鶴居村パークゴルフ場外構工事 857千円 （クラブハウスデッキ床補修） ・ファミスポ・アップ備品購入 1,584千円 ・保健体育施設等駐車場白線整備業務委託 677千円 （ふれあいセンター・多目的運動広場・幌呂農村公園） <p>③ スポーツ施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主なスポーツ施設の利用状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="2">2024年度(令和6年度) 利用状況(延べ)</th> <th colspan="2">2023年度(令和5年度) 利用状況(延べ)</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>日数</th> <th>人数</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファミスポアップ</td> <td>18,686人</td> <td>307日</td> <td>16,755人</td> <td>306日</td> </tr> <tr> <td>村民ふれあいセンター</td> <td>934 団体</td> <td>358 日間</td> <td>770 団体</td> <td>341 日間</td> </tr> <tr> <td>サッカー場</td> <td>106 団体</td> <td>94 日間</td> <td>94 団体</td> <td>94 日間</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>145 団体</td> <td>100 日間</td> <td>145 団体</td> <td>100 日間</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>62 団体</td> <td>62 日間</td> <td>60 団体</td> <td>60 日間</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td>8,516 人</td> <td>4月～11月</td> <td>9,075 人</td> <td>4月～11月</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	2024年度(令和6年度) 利用状況(延べ)		2023年度(令和5年度) 利用状況(延べ)		人数	日数	人数	日数	ファミスポアップ	18,686人	307日	16,755人	306日	村民ふれあいセンター	934 団体	358 日間	770 団体	341 日間	サッカー場	106 団体	94 日間	94 団体	94 日間	テニスコート	145 団体	100 日間	145 団体	100 日間	野球場	62 団体	62 日間	60 団体	60 日間	パークゴルフ場	8,516 人	4月～11月	9,075 人
施設名	2024年度(令和6年度) 利用状況(延べ)		2023年度(令和5年度) 利用状況(延べ)																																				
	人数	日数	人数	日数																																			
ファミスポアップ	18,686人	307日	16,755人	306日																																			
村民ふれあいセンター	934 団体	358 日間	770 団体	341 日間																																			
サッカー場	106 団体	94 日間	94 団体	94 日間																																			
テニスコート	145 団体	100 日間	145 団体	100 日間																																			
野球場	62 団体	62 日間	60 団体	60 日間																																			
パークゴルフ場	8,516 人	4月～11月	9,075 人	4月～11月																																			

C	<p>① 鶴居西公共エリア施設整備基本計画に基づく施設及び環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画に基づき、新総合体育館を建設。株式会社むらづくり鶴居による指定管理業務3年目。（※令和6年度更新）適切な施設の管理運営に努めている。 <p>② スポーツ施設の適切な維持管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の必要な補修を行い、施設の円滑な運用を図ることができた。 <p>③ スポーツ施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新総合体育館（鶴居村村民スポーツ・健康増進施設）愛称：ファミスポ・アップは開設3年目であり、株式会社むらづくり鶴居による指定管理者のもとで、独自にスポーツ講座等を開設するなど工夫を凝らした運営に取り組んでおり、村内外からの利用者に好評を得ている。 	A
A	<p>① 鶴居西公共エリア施設整備基本計画に基づく施設及び環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村民待望の新総合体育館がオープンしたことで、すでに各種教室や講座等を展開しているが、多種多様なニーズに応える施設として村民に親しまれるよう、指定管理者と連携して運営していきたい。 <p>② スポーツ施設の適切な維持管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ施設の利用に支障をきたさぬよう、引き続き、適切な維持管理に向けた予算の確保が必要。 <p>③ スポーツ施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる年齢層に利用促進を呼びかけることはもちろん、日常的に運動をしていない層の掘り起こしを行うための仕掛けが必要であると考えます。 施設の利用率向上のため、住民ニーズを的確に把握し、スポーツ教室等のメニューの新たな発掘を積極的に展開する必要がある。 	
	<p>今後の方向性</p>	<p>継続</p>

イ スポーツの振興

P	<p>① スポーツ協会（旧体育協会）など、関係団体との協力による活動内容の充実</p> <p>② 各種スポーツ教室の推進</p> <p>③ 「ゆる」スポーツの導入、普及</p>	
D	<p>① スポーツ協会など、関係団体との協力による活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴居村スポーツ協会補助金 300千円 協会への助成を通じて、各スポーツ団体の活動を支援 ・ 鶴居村スポーツ振興助成金 3,857千円 団体や個人の全国・全道大会出場経費の一部助成 <p>② 各種スポーツ教室の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み水泳教室 令和6年8月6日、7日、8日開催 参加者小学生のべ72名 会場 釧路市鳥取温水プール ・ 陸上教室 令和6年9月7日（土）開催、参加者：小中学生40名 会場 ファミスポ・アップ ・ スキースノーボード教室 令和7年1月26日・2月2日いずれも日曜日に実施 参加者2回のべ18名 会場 阿寒ロイヤルバレイスキー場 <p>③ 「ゆる」スポーツの導入、普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域巡回スポーツ講座 参加希望者が少なく中止 	
C	<p>① スポーツ協会など、関係団体との協力による活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体の本部への補助金や各団体・個人への助成を通して、団体活動の充実等につなげることができた。 <p>② 各種スポーツ教室の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例年実施しているスポーツ関係の教室や一部講座を開催することができなかった。 <p>③ 「ゆる」スポーツの導入、普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加希望者が集まらず講座を開催できなかった。 	B
A	<p>① スポーツ協会など、関係団体との協力による活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体の本部への補助金や各団体・個人への助成を通して団体活動の充実を図るため、引き続き予算の確保が必要。スポーツ振興助成金の交付基準については、保護者等の負担軽減を図るため、今後交付基準規定の一部見直しが必要と考える。 <p>② 各種スポーツ教室の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 村民が安心してスポーツ活動ができるよう、安全・安心なスポーツ教室や講座の在り方を検討することが必要。 <p>③ 「ゆる」スポーツの導入、普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は新総合体育館を拠点としながら、軽スポーツを中心に親しみやすいスポーツ体験を企画していきたい。 	
今後の方向性	継続	

ウ 指導者、リーダーの確保

P	<ul style="list-style-type: none"> ① スポーツ推進委員の活動促進 ② スポーツ少年団活動の指導者の養成 ③ 高齢者スポーツの拡大に向けた新たな指導者の育成 ④ 女性リーダーの育成 ⑤ 講習会、研修会への参加促進 	
D	<ul style="list-style-type: none"> ① スポーツ推進委員の活動促進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議 2024年（令和6年）4月30日（事業計画等審議） 第2回会議 8月9日（駅伝他各種大会運営競技） 第3回会議 10月23日（管内研究集会打合せ） ・研修会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> 北海道スポーツ推進委員研究協議会（オンライン） 事務局 2名 釧路管内スポーツ推進委員研究協議会 欠席 釧路管内スポーツ推進委員研究集会（11月9日鶴居村開催） 委員 7名 ② スポーツ少年団活動の指導者の養成（(3)ウ②の再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・事業実績なし ③ 高齢者スポーツの拡大に向けた新たな指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実績なし ④ 女性リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実績なし ⑤ 講習会、研修会への参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・研修機会そのものを確保できなかった。 	
C	<ul style="list-style-type: none"> ① スポーツ推進委員の活動促進 <ul style="list-style-type: none"> ・駅伝競走、村長杯バレーボール大会の運営役員として協力を頂いた。 駅伝競走：9月29日（村内） 第2回村長杯バレーボール大会10月14日（ファミスポ・アップ） ② スポーツ少年団活動の指導者の養成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの団体も規模が縮小している中で、積極的な関与ができなかった。 ③ 高齢者スポーツの拡大に向けた新たな指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな指導者の発掘・育成を図るための施策を想定していたが、実施に至らなかった。 ④ 女性リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな指導者の発掘・育成を図るための施策の展開はできていないが、スポーツ少年団では、女性がリーダー的役割を果たす状況もみられるようになってきた。 ⑤ 講習会、研修会への参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・研修機会そのものを確保できなかった。 	B

A	<p>① スポーツ推進委員の活動促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心なスポーツイベントの運営上、スポーツ推進委員の存在は必要であり、引き続き計画的に事業をすすめたい。 <p>② スポーツ少年団活動の指導者の養成（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修機会の確保を図り、指導者養成を図ることが必要。 <p>③ 高齢者スポーツの拡大に向けた新たな指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新総合体育館の活用などを通して、指導者の発掘・養成を図ることが必要。 <p>④ 女性リーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の発掘・養成を図ることが必要。 <p>⑤ 講習会、研修会への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体の関係者に研修・講習への参加を促し、指導技術の習得など指導者としての資質能力の向上を図ることが必要。
今後の方向性	継続（一部見直し）